

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. JET プログラムについて</p> <p>① 新規配属されたCIRの活用、取り組みを伺う。</p> <p>② JETプログラム (ALT、CIR、SEA) の更なる活用及び展開を伺う。</p> <p>③ 日南町では近年英語力に力を入れているが、目指す方向性と町内外へのPRも重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>2. 多文化共生について</p> <p>① モンゴル交流の今後の展開を伺う。</p> <p>② 外国人材育成就労プロジェクトの現在の状況及び今後の見通しを伺う。</p> <p>③ 外国人の受け入れ推進と共に、住まい等環境整備も必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>3. エネルギー政策について</p> <p>① 石見東太陽光発電の稼働状況、また太陽光パネルの償却時期も近いうちに到来すると考えられるがどのように取り組むか伺う。</p> <p>② SDGs環境のまちを標榜しているまちとして、公共施設への再生可能エネルギーも導入するべきと考えるが見解を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>① こども園や学校での交流活動、町民向けの語学教室や異文化理解のための講座の開催、町報等での情報発信、役場業務における外国人対応等を計画している。</p> <p>② ALTとCIRを同時に招致したことを生かし、園児から一般町民まで広く英語や異文化への関心と理解を高めたい。SEAについては、招致する計画はない。</p> <p>③ 今年度からのCIR配置などにより、全ての町民が広く英語や異文化への関心と理解を高め、国際社会において活躍できる人材育成や国際化に対応できるまちづくりを推進する。また、公式LINE開始などSNSを活用した情報発信に努めていく。</p> <p>2.</p> <p>① ゾーンモド市と情報交換や意向確認をしながら交流を続けていく方針である。</p> <p>② 鳥取城北日本語学校を通じて日南病院は2名の採用を決めたが、日南福祉会とオロチは採用を見送った。</p> <p>③ 住宅の確保は人材確保において有利な材料となる。事業所職員の住宅整備にかかる支援は必要だと考えている。</p> <p>3.</p> <p>① 大きな修繕もなく順調に稼働している。太陽光発電所の在り方は、将来を見据え検討を始めたいが、当面は効率的な発電の長期継続を目指していく。</p> <p>② 今後、公共施設の新築や改修の際には、導入を検討してみたいが、まずは省エネ設備機器の導入など脱炭素を意識した取組を進める。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 外国人材育成雇用プロジェクトについて外国人材育成雇用プロジェクトの現況と今後の取組及び課題等について伺う。</p> <p>① 就労を予定していた3事業所ごとの状況と今後の取組はどうするのか。</p> <p>② 来年度の取組計画と進捗状況はどのようなになっているのか。</p>	<p>1.</p> <p>① 鳥取城北日本語学校からの採用は日南病院が2名採用を決めたが、日南福祉会とオロチは採用を見送った。不足する人材は他の職業紹介事業者からの採用を模索しているところである。</p> <p>② 事業所の意向も伺いながら、来年度も鳥取城北日本語学校経由の採用とともに他の職業紹介事業者による人材確保を並行して進める予定である。</p>
<p>2. 高付加価値木材等の今後について日南大建(株)の経営状況についてどのような認識をされているのか伺う。</p> <p>① 防腐・防蟻処理された高付加価値木材とDWファイバーの令和5年度の生産量、販売量、収支の実績数字は把握されているのか。</p> <p>② 今後の販売及び生産増加に向けた具体的な取組を把握されているのか伺う。</p>	<p>2.</p> <p>① 防腐・防蟻については把握しているが、DWファイバーについては把握していない。</p> <p>② 防腐・防蟻事業については、増産にむけて非常に難しい状況であり抜本的な解決策について検討されている。DWファイバーについては、新たな市場での販売活動に取り組まれている。</p>
<p>3. グリーンドリーム計画について日南町環境基本計画の取組状況を伺う。</p> <p>① 6月予定の「環境基本計画推進会議」と8月予定の「環境審議会」は開催されたのか。開催されたのであれば、2つの会議の主な議題と今後の取組み及び対策はどのような内容なのか。</p> <p>② 「可燃ごみ減量大作戦！」の上半期の目標</p>	<p>3.</p> <p>① 「環境基本計画推進連絡会議」は7月29日に、また「環境審議会」は8月21日に開催した。令和5年度のグリーンドリーム計画数値目標の達成状況や、各課の取組状況などを議題に協議を行い、ごみの減量等について重点的に推進していくこととしている。</p> <p>② 7月末時点で一人一日526gであり、目標達</p>

数値一人一日516 gであるが9月末の達成見込みは。又、下半期の目標数値は何 gなのか。

成には、もうひと頑張り必要と考えている。また、下半期の目標数値は、一人一日当たり500 g以下とする考えである。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

高橋 洋志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 移動販売について</p> <p>① 5月以降の月ごとの利用実績について伺う。</p> <p>② 5月以降の業者に対する助成額について伺う。</p> <p>③ 業者のたったもカードチャージの取り扱い実績について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>① 5月の利用者は431人で販売額は898千円。6月の利用者は354人で販売額は791千円。7月の利用者は424人で販売額952千円。8月は8月28日現在、利用者は334人で販売額は705千円。</p> <p>② 8月末までの助成額は124万円である。</p> <p>③ 5月は13,000円、6月は51,000円、7月は81,000円、8月は8月28日現在で75,000円である。</p>
<p>2. 総合グラウンド照明設備について</p> <p>① 設備全体の改修とは別に本部席側に簡易照明設備を完備すべきと考えるが如何か。</p>	<p>2.</p> <p>① 設備の新設の予定はない。現在の照明設備の更新の計画の中で、照明の配置等について検討する。</p>
<p>3. JR 伯備線沿線の倒木対策について</p> <p>① 沿線自治体としてJRとどのような協力体制を取っていくか伺う。</p>	<p>3.</p> <p>① JRから協力要請があれば個別に検討する方針である。</p>
<p>4. 日南病院について</p> <p>① 今年度の外来患者数（一日平均）を伺う。</p> <p>② 新規患者獲得の方針及び取り組みについて伺う。</p>	<p>4.</p> <p>① 今年度の外来患者数は1日平均81名である。</p> <p>② 西部圏域の基幹病院との連携強化による新たな患者の受入を促進している。また、日野郡連携において内視鏡検査の拡大にも取り組んでいる。</p>
<p>5. 再生エネルギーについて</p> <p>① 今期の町営発電所の稼働状況、売電収入について伺う。</p>	<p>5.</p> <p>① 今期4月から7月の状況について、「石見東太陽光発電所」は、売電額4,731千円で、順調に発電している。「新石見小水力発電所」は、売電額5,235千円で、順調に発電していたが、8月に入り漏水が確認されたため、現在</p>

6. 森林環境譲与について

- ① 例えば千葉県松戸市と倉吉市のような取り組みが本町でもできないか伺う。

発電を停止し、事業者に修繕を依頼している。

6.

- ① 機会を窺いながら、都市部の自治体と連携した取組を進めていければと考えている。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 高齢者及び身体障害者等の外出支援について</p> <p>① デマンドバス小型車両によるドア・ツー・ドアの利用が低迷しているが、直近の利用状況と利用低迷の要因について伺う。</p> <p>② 障害者等外出支援事業を受託している事業者（3社）の利用実績が特定の事業者に偏っている。その要因について伺う。</p> <p>③ 町内での福祉有償運送サービスのニーズと提供状況を伺う。</p> <p>④ 福祉有償運送事業者に対する鳥取県及び町の助成事業を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>① 小型車両を7月から配備し、延べ35回の運行をしている。小型車両しか利用できない方だけでなく、乗客が少ない場合にも利用をしている。引き続きデマンドバスの利便性をPRする必要性は感じている。幹線まで出ることが難しくなる冬季の利用は増えると思込んでいる。</p> <p>② 福祉有償運送事業の利用には登録が必要であることやその事業利用への認知が進んでいないことが要因と考えている。</p> <p>③ 町内の福祉有償運送サービス事業所は2社あり、1社は通院限定でR5年度実績58件である。もう1社は行き先を問わず対応しておりR5年度実績53件である。</p> <p>④ 現在、鳥取県及び日南町による助成事業はない。</p>
<p>2. 次期日南町公共交通総合計画について</p> <p>① 現在の日南町公共交通総合計画の計画期間は令和7年3月までとなっている。次期計画の策定体制と進捗状況について伺う。</p>	<p>2.</p> <p>① 日南町公共交通確保対策協議会で議論し本年度中の策定を目指している。現在は令和4年10月からサービスを開始したドア・ツー・ドア型のデマンドバス運行の分析を行っている。</p>
<p>3. 町有遊休不動産サウンディング調査について</p> <p>① サウンディング調査の実施状況と企画提案のあった事業について伺う。</p> <p>② 当該不動産の利活用を決定するプロセスに</p>	<p>3.</p> <p>① 石見地域内の5施設を6事業者が現地視察するとともに、地元自治会を交えて意見交換した。参加事業者からは、バイオマス発電事業2件、地域振興の拠点づくり事業1件の合計3件の提案を受けている。</p> <p>② 地域や関係者の十分な理解が必要であると</p>

ついて伺う。

考えており、年内に再度地元説明会を開催し、その状況等を踏まえ、事業化に向かいたいと考えている。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 「消滅の可能性のある自治体」公表について</p> <p>① 「人口戦略会議」が4月24日のシンポジウムにおいて、日南町を含む744市町村を消滅可能性のある自治体として一覧を公表したが、当事者としての見解を伺う。</p> <p>② 若い女性の減少率を根拠に持続可能性を分析されたものだが、対策の必要性とその内容について町長の考えを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>① 町民一丸となってまちづくりを行う中での公表について憤りを感じている。現状を受け止め各種データに基づき、まちづくりを進めていく。</p> <p>② 消滅可能性自治体から脱却するためには2050年に若年女性人口を40人増加する必要がある。情報発信、子育て支援策の充実など自然減対策、社会減対策の両方に取り組んでいく。</p>
<p>2. 地域づくりの推進について</p> <p>① 中心地域整備検討委員会が発足し、町長から計画の策定を諮問されたが、現時点では新日南病院に関する協議が先行している。今後検討されるコンパクトビレッジ全体構想に期待される内容を伺う。</p> <p>② 委員会発足にあたり開催された、明治大学小田切教授が推奨されている「にぎやかな過疎」について町長の感想を伺う。</p>	<p>2.</p> <p>① 生山、霞エリアに、生活に必要なサービスは何なのか議論するとともに、町民が楽しく集える場所となる中心地域を目指す。</p> <p>② 「にぎやかな過疎」の本質、多様なプレイヤーの交錯はまさに今の日南町に必要な考え方だと思っている。講演を聞かれた方は何ができるかを考えるきっかけになったと思う。</p>
<p>3. 農業・農村振興について</p> <p>① 天井知らずの資材、農薬、肥料の高騰。耕作委託希望者の増加による畦畔、水路管理。猪被害対策等々、収入を伴わない負担は増える一方である。農業及び農村の窮状打破のため単町での支援策の検討、及び「食料・農業・農村基本法」を根拠にした国、県への要望活動を強化する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 日南米のブランドカアップの取組みが急務と考えるが見解を伺う。</p>	<p>3.</p> <p>① 同法に新たに明記された適正価格での買取を早期に実現するため、県と連携し、国に具体的な施策を迅速に展開してもらえるよう要望する。</p> <p>② 関係者が集まって、ブランド化に向けた共通理解、機運醸成を図るとともに、例えば、</p>

③ 生産地域（日南町）と消費地域の交流事業の推進はできないか見解を伺う。

町独自の認証制度の導入など、一定のルールづくりについて話し合う場を設定したい。

③ 「農泊」事業や「鳥取共生の里」事業に加えて、新たに生産者が行う消費者との交流事業も今後のためには必要と考える。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 養豚場の計画について</p> <p>① 環境保全協定書案の第7条、第3項に「(ファロスファーム株式会社は) 書面による命令があった場合には、これに従わなければならない」とあるが、町はファロスファーム株式会社に何らかの命令を下す権限をもっているのか。</p> <p>② そもそも、計画にある5万4千頭の飼育を水稲の圃場の上流で行うことはリスクが大きすぎないか。</p> <p>③ 移住定住や交流人口の増加のために日南町を全国にPRするためにも、日野川源流の町であり、SDGs未来都市でもある日南町にふさわしい計画への変更を、町として求めるべきではないか。</p>	<p>1.</p> <p>① 水質汚濁防止法に基づく命令権限者は県であり、町は命令権限を有していない。協定書第7条第3項で規定する町の命令は、同協定書において事業者が取り組むべき事項について、適切な対応が認められない場合、町が事業者に対して指示できることを指す。</p> <p>② 水質汚濁防止法上、飼育頭数を制限する規定はなく、規定の排水基準を満たすことが必要とされている。大事な視点は、飼育頭数に対応する能力を備えた浄水設備の整備であると考えており、今後具体化する事業計画の動向を注視していく。</p> <p>③ 事業者には町環境基本条例や協定書に基づき、環境負荷を低減した健全な事業活動を行ってもらう必要がある。今後、町としても必要なチェック機能を果たしていく。</p>
<p>2. ごみ処理について</p> <p>① 西部広域行政管理組合によるごみ発電施設(ごみ焼却施設)の建設候補地選定の経過について、建設候補地選定検証委員会による検証が行われている。このことに対する町長の見解を問う。</p>	<p>2.</p> <p>① 一般廃棄物処理施設建設候補地選定検証委員会では、8月29日の第7回委員会において報告書がまとめられた。報告書は今後、委員長から西部広域行政管理組合管理者へ提出される予定であり、この内容を真摯に受け止め、今後の対応をより丁寧に進める必要があると考える。</p>
<p>3. 民家などに影響のある樹木の伐採に対する助成について</p> <p>① 一部の林地の荒廃により、災害時に民家などに影響を及ぼす恐れのある樹木が放置されている場所がある。町として実態を把握しているか。</p>	<p>3.</p> <p>① 相談いただいた場合は現地を確認しているが、町全体の実態把握は行っていない。</p>

② 民家などに影響のある樹木の伐採に対する補助事業を新設してはどうか。

② 意見は参考にさせていただくが、今のところ考えていない。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

荒金 敏江議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 補聴器購入補助制度について</p> <p>① 3月定例会の一般質問に対して、「認定補聴器技能者」の講演など補聴器に対するマイナスイメージを払拭する研修を取り組むと答弁されたが、その後の取り組み状況を問う。</p> <p>② 加齢に伴う難聴は自覚しにくいので、聴覚検診を実施し聞こえへの関心を高めることが必要と考えるが、町長の見解は。</p> <p>③ 年金生活では補聴器を買えない、片耳分だけを購入したなどの意見を聞く。高齢化が進んでいる日南町こそ、補聴器購入補助制度を実施すべきと考える。署名提出時並びに3月の一般質問時、検討すると答弁された。検討結果を問う。</p>	<p>1.</p> <p>① 8月に予定していた人生学園での講演は中止となったが、日南病院の言語聴覚士と共同で聞こえについての学習を町民大学で開催することを計画している。</p> <p>② 聞こえのセルフチェック等により関心を高め、専門医療機関での受診を今後も様々な機会を捉え勧めていく。</p> <p>③ 補聴器の購入前の相談から、安定した利用継続までを一貫して支援できる体制づくりを含めて検討している。</p>
<p>2. 「大阪・関西万博」について</p> <p>① 環境省による「最終処分場における廃止基準項目」に『7) 埋立地からガスの発生がほとんど認められない又はガスの発生量の増加が2年以上にわたり認められない』と規定されており、これらの基準をすべて満たした段階で跡地の利用が可能になると規定されている。しかし、今年3月28日、万博予定地でガス爆発が起こった。その後もメタンガスを含む有害ガスが発生している。このような場所で行われようとしている「大阪・関西万博」をどのように考えるか、見解を問う。</p> <p>② 防災計画では、落雷の危険性が高いため巨大屋根リングの手すりが避雷針に設定される。多くの人出が見込まれる中で、手すりに触る・リングの下で雨宿りや日よけをするなど、落雷事故に遭う危険がある。ま</p>	<p>2.</p> <p>① 爆発事故を踏まえ、万博会場における来場者の安全のため、より一層の安全対策が講じられるべきであり、開幕に向けて万全の態勢を取っていただきたいと考えている。</p> <p>② 落雷のリスクやヒアリの発生に関して、大阪府及び関係機関による対策が講じられるとのことであり、引き続きしっかりとした対応と、国民への周知・広報を期待する。町としても必要な情報を収集していく。</p>

た、6月28日夢洲で、刺されると強い痛みが生じ最悪の場合死に至るケースもあるヒアリ約550匹を確認している。このような状況をどのように考えるか、見解を問う。

③ 学校行政の責任者として教育長は学校運営にどのような権限と責任をもっているのかを問う。

④ バスの乗降場から会場入り口まで約1キロを歩いて移動する事が見込まれる、また団体休憩所は2000人までの利用で利用できないことも予想される。熱中症など様々な危険が予想される「大阪・関西万博」は、修学旅行等の学校行事としては、ふさわしくないと考える。こどもの安全を守るため、学校行事として「大阪・関西万博」にこどもを送らないよう指導すべきだと考えるが、見解を問う。

③ 教育長は、教育委員会の代表であり、規則や方針等の決定、学校運営に関する事項の承認や指導、職員の服務監督を行う。

④ 学校行事は、学校が主体的に計画・実行するものである。教育委員会は、適切な行事になるよう、情報提供や必要な指導を実施する。